当日配布資料４

これまでの子ども・子育て会議における委員意見等のとりまとめ

１　子ども・子育て支援事業計画全般に関すること
・年少人口の増加，出生率の向上 ・子ども・子育てに関する支援が必要な社会的状況 ・生まれる前から 18 歳までのトータルの支援をどうするか ・子どもの生育環境を守っていくような計画にしてほしい ・量だけでなく質的な充実を図ってほしい
２　保育サービス等の状況に関すること
・待機児童の解消と質の向上 ・4 月保育所入所のために職場復帰を早めている状況 ・保育士の確保，質の高い保育士の養成 ・保育所の土曜利用の増加に伴い保育の実施職員の労働時間を守るための方策が必要
３　地域子ども・子育て支援事業に関すること
・地域子ども・子育て支援の充実 ・遊ぶ機会の減少 ・地域子育て支援施設の拡充 ・産前・産後からの支援 ・幼稚園，保育園に入っていない子どもへの支援
４　放課後児童クラブに関すること
・放課後児童クラブを利用できない保護者が多くいる ・放課後児童クラブがない地域がある ・放課後児童クラブの利用料金が実施施設により異なっている ・利用料軽減のニーズが多い ・指導員の待遇の改善 ・日曜日の利用ニーズがあるならば，提供できるようにしていかなければならない ・新基準に対応できるような市の支援策が必要 ・資格を有する人の確保が課題
５　地域子育て支援拠点事業に関すること
・すべての子どもに平等に施策を提供することが必要 ・子育て支援センターの拡充
６　病児・病後児保育事業に関すること
・病児保育の充実，受け入れ人数の増加 ・季節によって需要が異なり，キャンセル待ち等需要の増加への対応策の検討が必要である ・子どもが体調を崩して仕事を休むことが続くと仕事をやめなければならなくなる ・すべての保育所で病児・病後児保育を行えば保護者は安心

7　児童館･児童センターに関すること
・二人の指導員で 100 人近い子供を見なければならないセンターがある ・18 時で終わるため，保護者は大変 ・センターによって施設・設備等に非常に差がある ・安心・安全に放課後を過ごせることが重要，児童館・児童センターを充実していくべき
8　ワークライフバランスに関すること
・母親が子育てしやすい就労条件の整備 ・親の就労環境が非常に厳しい ・父親の育児休業の取得率の低さ，父親の子育てが進んでいない ・育児休業は行政，家庭，企業や地域を含め社会全体で取り組まなければならない ・子どもが病気になった時に休めないことが問題 ・盛岡のまち全体でワークライフバランスの意識の醸成 ・子育て支援の必要性について事業所への周知が必要 ・育児休暇を取りやすい，職場復帰しやすい環境づくり ・子育てにやさしい企業のマーク，推奨の手立てを講じていかなければ進んでいかない
9　特別な支援を必要とする子どもに関すること
・児童虐待への対応 ・子連れ再婚が増加傾向にあり，相手方の子どもの養育に対する支援の充実 ・社会性が未発達の子，情緒不安定の子への支援 ・情緒障がいが増え，深刻化している ・児童家庭相談窓口の充実 ・相談が必要という認識を持てない保護者への対応 ・市の児童相談の件数が少ない
10　その他
・インターネットを利用して情報を収集しており，困ったときにどんな時間でも対応・回答できる仕組みがあればよい ・子ども・子育て支援新制度について周知が必要 ・民生委員として，子どもがどこで生まれているか把握できない ・子育て時期の保護者世代は経済的に一番厳しい ・経済的不安の軽減 ・大家族の中で子育てが可能な環境から核家族化が進み，子育てに悩んでいる ・就労支援の必要性（親の就労に対応した学童の預かり） ・子どもの支援に携わるすべての人が専門的知識をもって仕事に携わるべき ・保護者の心の安定 ・子育て支援に係る民間の取組も広報に掲載してはどうか